

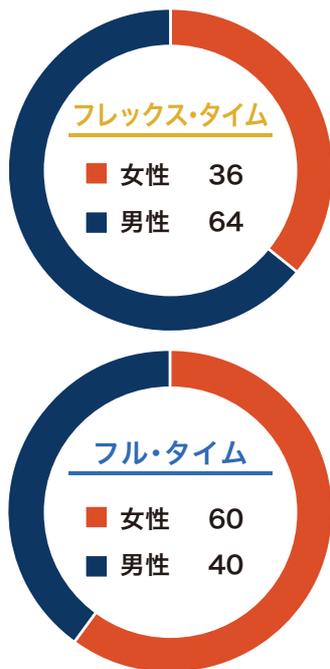
Profile MBA学生プロフィール

ABSに通う将来の創造的リーダーは、次のようなプロフィールの人達です。女性比率が他のビジネススクールよりも高く、サービス業や情報通信業界で働く人がやや多いですが、幅広い業界で働く人達が集まっています。

※2019年度入学者のデータです。

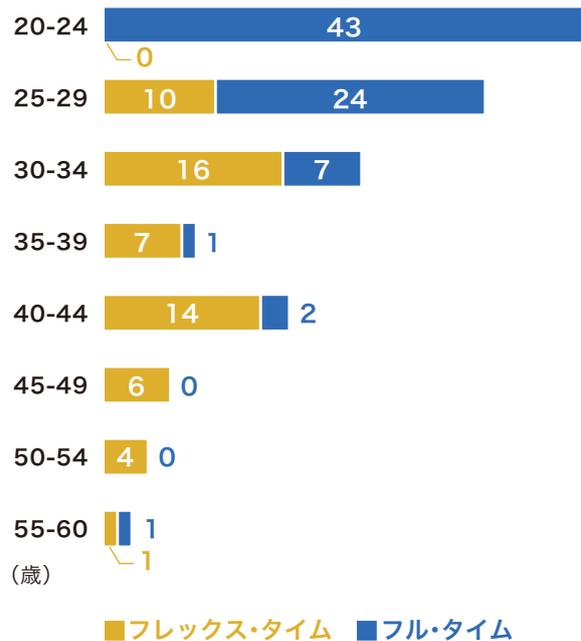
男女比

(%)



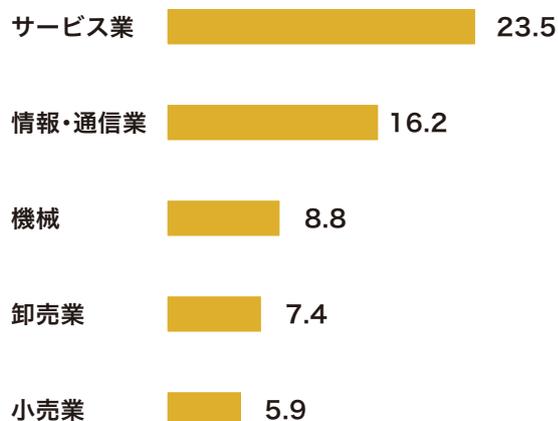
年齢構成

(人)



職業 (フレックス・タイム)

(%)



平均年齢

(歳)

	女性	男性	合計
フレックス・タイム	37.8	37.9	37.8
フル・タイム	26.2	24.9	25.7
合計	29.8	32.0	30.9

海外からの入学者の国籍

(フル・タイム)

■中国 ■台湾 ■韓国

DBA Program

博士課程

ABSには、企業などで専門性が要求される研究課題に取り組む研究者を養成する「実践的研究志向」のDBA (Doctor of Business Administration) プログラムがあります。MBAなどの修士号取得者を対象にしており、働きながらも学位が取得できるプログラムです。DBA取得の必須条件は、高度な専門性が必要とされる実践的分野において、独自の着眼点と分析ツールを用いた問題解決能力と考察力です。(ABSには、学術研究者の養成を目指すPh.D.プログラムもあります。)

》プログラムの特徴

研究指導プロセスは明確化され、3名の研究指導委員による公開研究指導体制を導入しています。これにより学生間の競争的研究環境を整備すると同時に、学位論文のクオリティ・マネジメントを徹底しています。

また、国内外での発表に対する指導面・財政面からの支援を行います。海外連携校とのネットワークを活用した、国際カンファレンスでの研究発表機会の提供がその一例です。

》博士号取得者の進路

これまでの博士号取得者の多くは、大学の研究職や教授職、民間企業の研究職として活躍しています。

最近の学位論文のテーマ

- 「マイクロブログにおけるブランドリツイートの種類別生起モデルに関する研究」
(2018年度)
- 「コーポレートガバナンス理論に基づく投資家・経営者間のエンゲージメントに関する研究」
(2018年度)
- 「プロフェッショナル・サービスにおける組織アイデンティフィケーション構造 —リーガル・サービスでのバリュー・プロフィット・チェーンの検証—」
(2018年度)
- 「日本におけるヘッジ会計の実証分析」
(2018年度)

「学生体験談」は、ホームページをご覧ください。

http://www.aoyamabs.jp/message/voice_phddba.html



専任教員紹介

2019年度（五十音順）



教授
井田 昌之

青山学院大学大学院理工学研究科修了。工学博士。青山学院大学国際政治経済学部教授を経て現職。情報科学研究センターでは1988年に青山学院のインターネット接続を実施。マサチューセッツ工科大学人工知能研究所客員研究員(1993年、2002年)、ANSI X3J13正員、(財)国際情報化協力センター客員上席研究員、内閣府IT国際政策懇談会委員(2004年)などを歴任し、IT国際標準・振興に参加。企業情報システム構築・起業支援関連の多数の経験。担当科目は「インターネットビジネスプロジェクト」「ITマネジメント」「グローバルIT」など。



教授
市野 初芳

明治大学大学院経営学研究科博士後期課程中退。税理士(1987年税理士登録、東京税理士会会員)。税理士事務所開業後、企業の税務顧問として税務実務に従事。その後、愛知学院大学商学部専任講師、助教授、教授。この間、マレーシア・マラヤ大学客員研究員、総務省自治大学校講師を経て、2011年より現職。2014年名古屋経済大学大学院法学研究科博士課程修了、博士(法学)。現在、税理士法人代表社員。ASEAN諸国における税制の動向を研究対象としている。担当科目は、「アカウントティング基礎」「財務諸表論」など。



准教授
伊藤 晴祥

青山学院大学国際政治経済学部卒業。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科から博士(政策・メディア)取得。ハワイ大学シャイドラ経営大学院から博士号(Ph.D. in International Management)取得。国際大学講師、同准教授、イトックス株式会社代表取締役(現職)、国際大学MBA1年制プログラムディレクターを経て現職。専門分野はコーポレートファイナンス、リスクマネジメント、リアルオプション。最近ではSDGsやInsurTechに関する研究も行っている。担当科目は「コーポレート・ファイナンス」「ファイナンシャル・レポーティング」など。



教授
岩井 千明

慶應義塾大学法学部政治学科、青山学院大学大学院国際政治経済学研究科修士課程(MBA)修了。横浜国立大学大学院博士課程修了(博士:経営学)。青山学院大学国際政治経済学部を経て、2004年より現職。日本電気株式会で官公庁大型プロジェクト営業、マイクロソフト株式会社でインターネットマーケティングマネージャーを歴任。研究分野はビジネスゲームの開発、データベースマーケティング。主要担当科目は「ビジネスデータ分析」「マネジメント・ゲーム」など。



助手
川口 央

中央大学法学部政治学科卒業。同大学院法学研究科政治学専攻博士課程前期課程修了、修士(政治学)。同後期課程単位取得退学。目白大学外国語学部専任講師(情報教育専任講師)等を経て2015年より現職。コンピュータ利用教育学会等所属。主に情報環境整備業務や教育研究補助業務を担当。MBA科目のビデオオンデマンド授業化など情報システム活用での教育改革などに取り組む。また徳島県神山町サテライトオフィスなど地域とABSを結ぶ遠隔授業システムの開発を進めている。



准教授
北野 泰樹

上智大学経済学部経済学科卒業、東京大学大学院経済学研究科現代経済専攻修士課程、博士課程修了。博士(経済学、東京大学)。政策研究大学院大学政策研究科講師、助教授、一橋大学イノベーション研究センター特任准教授を経て2016年より現職。専門は応用ミクロ経済学分野の産業組織論と国際貿易。実証分析を中心に研究を行い、Journal of International Economics誌等に論文を掲載。担当科目は「企業経営の経済学」「ゲーム理論とマネジメント」など。



教授
黒岩 健一郎

早稲田大学理工学部建築学科卒業。住友商事株式会社勤務。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(MBA)。同後期博士課程単位取得退学、博士(経営学)。武蔵大学経済学部専任講師、准教授、教授を経て2014年から現職。専門分野はマーケティング論。特に、サービス・マーケティング、市場志向。主著に、『マーケティングをつかむ』『なぜ、あの会社は顧客満足が高いのか』などがある。担当科目は、「マーケティング基礎」「サービス・マーケティング」など。



教授
榎原 正幸

名古屋大学経済学部、同大学院経済学研究科博士課程(後期課程)単位取得満期退学。1997年、東北大学大学院経済学研究科助教授。2001年、英国レディング大学大学院博士課程を修了し、博士(PhD)の学位を授与され、フランス・レンヌ経営大学院にて教鞭を執る。東北大学大学院経済学研究科教授を経て、2004年より現職。現在では、会計情報と株価との関連性についての研究に関心を持っている。担当科目は「アカウントティング基礎」「会計情報と株式市場」など。



教授
澤田 直宏

慶應義塾大学商学部卒業、同大学院経営管理研究科修士課程修了。一橋大学大学院商学研究科博士後期課程単位取得退学。博士(商学、一橋大学)。全国信用金庫連合会(現 信金中央金庫)、A.T. カーニー株式会社、横浜市立大学准教授、本研究科准教授を経て2015年より現職。専門は経営戦略論。R&D Management等に論文執筆。担当科目は「経営戦略基礎」「競争戦略」など。



教授
須田 敏子

青山学院大学経営学部卒業。日本能率協会マネジメントセンターにて月刊誌「人材教育」の編集に携わり、1993年から1997年まで編集長。イギリスのリース大学で修士号(MA in Human Resource Management)、パース大学で博士号(Ph.D.)を取得。2005年より現職。主な専門分野は、組織論・組織行動論・人材マネジメント・国際経営比較など。「人材マネジメント」「組織行動」などの科目を担当。主要著書に『マネジメント研究への招待:研究方法の種類と選択』『組織行動:理論と実践』『戦略人事論:競争優位の人材マネジメント』などがある。



教授
高橋 文郎

東京大学教養学部教養学科卒業、ペンシルベニア大学ウォートンスクール経営学修士(MBA)。野村総合研究所研究員、野村マネジメント・スクール主任研究員、CSKベンチャーキャピタル取締役、UAMジャパン取締役、中央大学経済学部教授を経て、2004年より現職。専門分野は企業財務、企業倫理。「企業倫理とコンプライアンス」「企業価値評価」「ビジネス・プランニング」などの科目を担当。主な著書として『ビジネスリーダーのフィロソフィー』(金融財政事情研究会)、『コーポレート・ファイナンス基礎と応用』(共著、中央経済社)がある。



教授
武田 澄広

カーネギーメロン大学経営大学院(Tepper School)にて博士号(Ph.D in Finance)及び、コンピュータショナル・ファイナンス修士号(MS)取得。大阪大学基礎工学部卒業(生物工学)。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UC L A)経営大学院客員研究員等を経て現職。専門分野は、ファイナンス経済学、計量経済学、国際ファイナンス等。最近は、人工知能やブロックチェーンに興味を持っている。担当科目は、「ファイナンス&テクノロジー」「インベストメント」「国際ファイナンス」「デリバティブ」など。



教授(研究科長)
中里 宗敬

東京工業大学工学部経営工学科卒業。同大学院理工学研究科経営工学専攻修士課程修了(工学修士)。東京工業大学工学部助手、青山学院大学国際政治経済学部助教授、アメリカ・ミシガン大学ビジネススクール客員研究員を経て現職。専門分野は企業財務と証券投資。特に証券バブル発生と崩壊のメカニズムの研究を長年行っている。主要著書に『コーポレート・ファイナンスの考え方』など。担当科目は「ファイナンス基礎」「証券市場分析」「FAST」など。



教授
中野 勉

慶応義塾大学経済学部卒業。シカゴ大学修士、金融機関勤務後、コロンビア大学博士課程修了(Ph.D. in sociology)。ミシガン大学フロンティア校助教授、ミシガン大学アナーバー校日本研究センターでのファカルティ・アソシエイト、関西学院大学経営戦略研究科助教授を経て2007年度より現職。コロンビア大学Center on Organizational Innovation外部ファカルティ。関係性の視点から、アメリカ社会学組織論とヨーロッパ伝統の経済社会学分野を専門とし、ネットワーク分析、プラグマティックな価値評価、共創によるソーシャル・イノベーション、クリエイティブ・インダストリーとデザイン戦略、クラスターなどを研究。担当は「企業戦略」「ソーシャル・ネットワークと組織のダイナミクス」「Global Management」「組織戦略上級」「演習」など。



教授
福井 義高

東京大学法学部卒業。日本国有鉄道に入社し、国鉄分割民営化後2000年まで東日本旅客鉄道に勤務。東北大学大学院経済学研究科助教授(2000年~2002年)を経て、2002年より現職。カーネギーメロン大学GSIA(現Tepper School)にてM.S.及びPh.D.取得。専門分野は会計制度・情報の経済分析。その他関心のある分野は進化論、現代政治史、マクロ経済学など。担当科目は「企業経営の経済学」「財務会計」など。



教授
藤井 賢治

一橋大学経済学部卒業。同大学大学院経済学研究科理論・統計専攻修士課程修了(経済学修士)。島根大学教育学部、青山学院大学経済学部を経て現職。専門は経済学史で、アルフレッド・マーシャルからピグー、ケインズ、そして現代のポスト・ケインジアンへと連なるケンブリッジ学派の通史的把握を研究テーマとする。担当科目は「マクロ経済学」「制度環境と企業経営」など。



教授
細田 高道

東京理科大学卒業。マサチューセッツ工科大学(MSc)卒業後、英国カーディフ大学カーディフ・ビジネススクールより博士(Ph.D.)の学位を授与され、そのままカーディフ・ビジネススクールにて教鞭を執る。2009年より現職。英国高等教育アカデミー・フェローであり、英国高等教育外部審査員としても活動。研究分野はサプライチェーン・マネジメント。近年は循環型サプライチェーンに関する諸問題に関心を持っており、研究成果はEuropean Journal of Operational Research等から出版。数多くの国際研究プロジェクトを遂行中。担当科目は「オペレーションズ・マネジメント」「サプライチェーン・マネジメント」「研究方法論」など。



教授
宮副 謙司

九州大学法学部卒業。慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程修了(MBA)。東京大学大学院経済学研究科博士課程修了(博士:経済学)。西武百貨店、PwCコンサルティング、東京大学大学院特任研究員などを経て2009年4月より現職。専門分野は、マーケティング、流通論、地方創生論。担当科目は、「マーケティング戦略」「ファッション・リテイリング」「地域活性化のマーケティング」など。主な著書として『全国百貨店の店舗戦略』『コアテキスト流通論』『ケースに学ぶ青山企業のマーケティング戦略』などがある。



教授
Glenn E. Mayhew

ブリガム・ヤング大学卒業。シカゴ大学経営大学院(MBA)及びカリフォルニア大学バークレー校(Ph.D.)修了。ワシントン大学オーリン経営大学院、国際大学大学院(2000年7月から2002年3月、2004年7月から2005年9月まで副学部長)を経て2007年度より現職。研究テーマは、価格戦略、顧客生涯価値、オンラインでの消費者行動。担当科目は「価格戦略」「消費者購買行動」「マーケティング意思決定モデル」など。



教授
森田 充

九州大学経済学部を飛び級入学のため退学、同大学院経済学府修士課程修了、および、同経済学府博士後期課程経済工学専攻修了(博士:経済学)、九州大学大学院経済学研究院学術特定研究員、2007年度より青山学院大学大学院国際マネジメント研究科助教、2012年度より准教授を経て2019年度より現職。専門は計量経済学、最近ではファイナンス、ビジネスゲーム、人事関連の実証分析に取り組んでいる。担当科目は「統計分析Ⅰ・Ⅱ」「企業分析とファンド・マネジメント・シミュレーション」など。